

Q12 流域対策とは？

A12 流域対策とは、流域内のさまざまな施設を活用して雨水を一時的に貯留することにより、河川への流出を抑制する対策です。

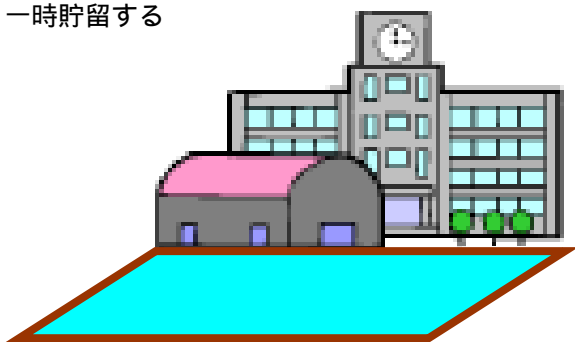
武庫川の上流域では過去に大規模なニュータウン開発が進められ、雨水の河川への流出増に伴う河道への負担が大きくなっています。このことから、従来の河川整備の手法に加えて、河道への負担を極力軽減するための流域対策は重要と考えています。

また、さまざまな施設で雨水を一時的に貯留することにより、施設から河川に至る間の水路や下水道への流出抑制につながることから、内水対策としての効果も期待できます。

イメージ図

学校貯留

敷地内に降った雨水をグラウンドに一時貯留する



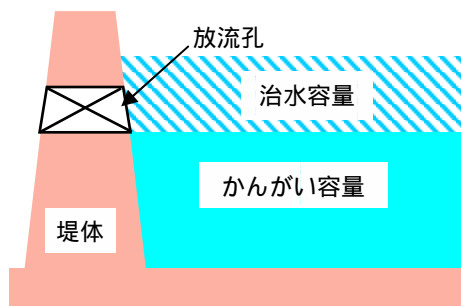
公園貯留

敷地内に降った雨水をグラウンドに一時貯留する



ため池貯留

ため池に雨水を一時貯留する



各戸貯留

屋根に降った雨水を一時貯留する

